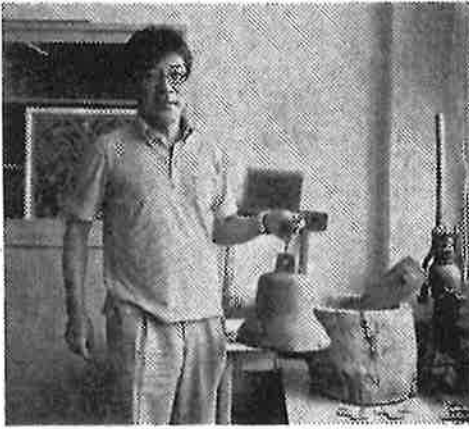


# 川加納小が創立140周年

## 桶 児童がシンボルマークなど作成

桶川市立加納小学校は、長、保護者などが「140周年記念事業実行委員会」を組織し、関連事業の活動を進めています。



加納小ミュージアムで鐘を持つ小林校長

関連事業ではシンボルマークなどを見童が作成。人が手をつなぎ、輪をつくるシンボルマークは2年生の岩崎琴裏さ

んのデザイン。また、「無限大 未来に飛び立って 加納っ子」というキヤッチフレーズは6年生の米山巧真さんの作品です。横断幕や、卒業生の加藤日出夫さんが木刻画で作成して寄贈したものが同校に飾られています。

小林松司校長は「校内には、隣にある加納中学校の生徒の作品が展示される『加納画廊』や、PTAの方が昔の道具や古い教科書などを整理して展示している『加納小ミ

ュージアム』があります。代々が加納小の卒業生だというご家庭も多く、地域の方が大変関心を持ってくださっています」と、話しました。

母親と鉄棒の練習をしていた5年生の関口穂美さんは「運動会が9月28日にあります。いつもは2学期が始まってから練習を始めるのですが、今年は140周年だから特別で、もう練習を始めています。組体操などはパージョンアップしているんです」と話しました。